


校長室だより No. 14  
 (平成 27 年 11 月 30 日)  
  
 泉大津市立上條小学校  
 校長 松田 義広

<http://izumiotsu-ed.jp/e-kamiyo/hp/>

ホームページでは、日々の学校の様子をお伝えしています。

小春日和の多い 11 月でしたが、師走を前に急に冷え込んでまいりました。これから年末年始を控え、ますます忙しくなりますが、家族全員が心身共に健康であることが何より望まれますね。

さて、明日の 1 日(火)と 2 日(水)、4 日(金)のいずれかに保護者の皆様にご来校いただき、お子様の学校での様子をお伝えいたします。また、ご自宅での様子もお聞かせください。短い時間ですが、有意義な懇談になりますよう努めますので、よろしくお願ひします。

## 12 月の行事予定

★学校に遊びの来られない日 ( ) 下校時刻

12	1	火	個人懇談① (1:20)	12	11	金	PTA 実行委員会・指名委員会
12	2	水	研究授業(1-3 英語 2-1 国語) ★	12	15	火	児童朝礼
12	3	木	個人懇談② (1:20) ALT (5 年)	12	17	木	JA 料理教室(5-1) ALT (3 年)
12	4	金	個人懇談③ (1:20) 通級授業終了	12	18	金	クリスマス会(支援)
12	7	月	諸費振替日 図書冬休み特別貸出(～18 日)	12	21	月	給食最終日 ★
12	8	火	児童朝礼	12	22	火	大掃除 一斉下校 (12:00)
12	10	木	JA 料理教室(5-2) ALT (6 年) 点字教室(4 年)	12	24	木	終業式 (10:30)

## 1 月の主な行事予定

7 日(木) 始業式 (10:30) 8 日(金) 一斉下校 (12:00)  
 12 日(火) 給食開始日 諸費振替日 20 日(水) クラブ⑦  
 27 日(水)～29 日(金) スキー学習(6 年)



## 小・中連携について

かねてより紹介させていただいていますが、小津中校区においては就学前・小・中連携に力を入れています。11 月の子ども達に関する行事だけでも、5 日の津波訓練、13 日の就学時健診、16 日の小中音楽交流会、19 日・20 日の職場体験、26 日の出前授業などがあげられます。また、幼児・児童・生徒だけでなく教職員の交流も盛んです。研修会を共に開催したり、授業を公開したりと教職員が往来することで、互いの教育実践を理解するように努めています。

今後も就学前施設→小学校→中学校間の段差をスムーズな接続で、子ども達の困り感をなくしていきたいと思っています。保護者の皆様にも、連携の効果をお子様と共に実感していただくことが大切なことと思っています。

## イザ！カエルキャラバン！in 上條小学校

21日(土)の休日参観に多数ご来校いただき有難うございました。各学年それぞれの取組でしたが、お子様の活躍を見ていただけたでしょうか？

さて、例年はPTA主催の教育講演会を行なっていましたが、今年度は防災体験プログラム『イザ！カエルキャラバン！in 上條小学校』を行ないました。

最初に市よりの企画を見たとき、パンフレットの中にもありました『たのしく防災を学ぼう！』の文字に、『真剣に防災を学ぼう！』ではとの違和感を覚えました。しかし、少しでも防災を身近なものと感じる機会を増やすべきとの提案を理解し、本校PTA、泉大津青年会議所の共催で開催していただきました。市の多くの団体をはじめ、本校職員はもちろんのこと、PTA役員や校庭緑化委員会の皆様にまで、ブースのお手伝いをしていただきました。本当に有難うございました。おづみんもイベントを盛り上げるために一役かってくれました。

市の担当者は、防災イベントとなると若い人達の参加が少ない中、今回に限っては保護者の方々から子ども達まで若い人達が多く参加していただけたことを喜んでおられました。

しかし、今回のイベントは、あくまでも防災についてのミニ知識であったり、ちょっとした体験であったりと、より関心を持っていただくきっかけ作りだったと思います。イベント終了後の集まりでも職員に『今回の体験プログラムは楽しかったね。』だけに終わらせないように今後も継続的な防災教育をしていこう。」と伝えました。

災害は予測不能なところがあります。ご家庭でも『万が一に備えて』ということで、お子様とお話ください。

## 薬物乱用防止教室(6年)

27日(金)2時間目に大阪府堺少年サポートセンターの警察官にお越しいたいただき、薬物乱用がなぜいけないのか等についてお話いただきました。

今回の教室は以前より計画していたところですが、京都の小学生が大麻を吸ったことを、最近、大きく報道しています。多くの6年生もこの報道を知っており、社会全体の注目も高くなっています。薬物の危険が既に小学生まで及んでいたことに改めて衝撃を受けているところでのお話でしたので、今まで以上に身近に迫る危険なことと感じたと思います。

薬物乱用は、人生を取り返しがつかない方向に大きく変えてしまいます。今後も、子ども達に啓発してまいりたいと思います。